

## 第18回総務企画専門委員会 議事録（概要）

### 1 日時

令和5年(2023年)1月27日(金) 11:00～11:35

### 2 場所

滋賀県危機管理センター 1F 会議室3・4

### 3 出席委員（五十音順、敬称略）

會田 省吾 委員、明石 芳夫 委員(Web)、石河 康久 委員、越後 敏夫 委員、  
太田 千恵子 委員、小田 隆司 委員(Web)、門 久仁裕 委員長、雲根 ひとみ 委員、  
萩原 良智 委員、濱川 克彦 委員、廣瀬 年昭 副委員長、松永 敬子 委員(Web)  
(委員定数15名中12名出席)  
(欠席委員：猪飼 隆幸 委員、嘉悦 和子 委員、斉藤 隆史 委員)  
その他事務局職員

### 4 会議概要

#### 【報告事項】

- (1) わたSHIGA輝く国スポ 正式競技 競技名の変更について
- (2) わたSHIGA輝く国スポ 式典会場 正式競技・デモンストレーションスポーツ競技会場  
施設名の変更について
- (3) わたSHIGA輝く障スポ 式典会場、正式競技・オープン競技競技会場施設名の変更につ  
いて

#### 【質疑】(1)～(3)一括

なし

#### 【審議事項】

- (1) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 開催準備総合計画改正（案）

・案のとおり承認された。

#### 【質疑】

なし

- (2) わた SHIGA 輝く国スポ 正式競技 競技会場変更（案）

・案のとおり承認された。

#### 【質疑】

なし

- (3) わた SHIGA 輝く国スポ デモンストレーションスポーツ主管団体変更（案）

・案のとおり承認された。

#### 【質疑】

なし

#### (4) わた SHIGA 輝く国スポ 競技施設基準の改正 (案)

- ・案のとおり承認された。

##### 【質疑】

<委員>

- ・この施設基準の変更に伴って、現行予定している施設に影響が出ることがあるのかということと、今後も開催までに基準の改正があつて施設に影響がでる可能性はあるのか。

<事務局>

- ・この競技基準に記載している以外にも細部については各競技規則等によるものとしており、競技開催には影響がないものと考えている。また今後、競技規則の改正等があると思うが、施設に影響があれば、確認の上改正の手続きを進めていきたい。

<委員>

- ・施設として規則が変わったときに、どの程度対応しなければいけないのかという必要性についての説明を改めてお願いしたい。

<事務局>

- ・先ほどの説明のとおり、各競技団体の規則が毎年のように変更や見直しが行われるので、順次対応させていただくことになる。開催まであと2年になるので、今後変更があつた場合は、日本スポーツ協会および各競技団体と協議の上、いつから変更を適用するのかということや、弾力的運用について、例えば、本県の大会では適用しないということができないのかなど検討の上、なるべく施設改修に影響を及ぼさないようにしていきたいと考えている。

#### (5) わた SHIGA 輝く国スポ 競技施設整備計画 (第5次) (案)

- ・資料訂正報告 P18 資料8の施設整備区分一覧
- ・案のとおり承認された。

##### 【質疑】

<委員>

- ・この委員会の場合での委員発言として適当かどうかかわからないが、施設整備計画の主な整備内容について、例えば、サッカーの皇子山陸上競技場のトイレ改修等、バスケットボールの野洲市総合体育館のトイレ等バリアフリー化と記されている。このタイミングでトイレのユニバーサルデザインはもちろんであるが、トイレの和式について、設備が壊れないとなかなか改修されないという問題が公共施設にはある。全国的にもスポーツ施設全般でまだまだ和式がたくさん残っている状況で、特に大会等があると、使う時間が集中するので、限られた洋式に長蛇の列という状況をまだまだよく見ることがある。今回、国スポのタイミングはトイレの洋式化を進めるチャンスではないかと思っているが、トイレの洋式化について、壊れていないのに予算を付けるのは難しいと思うが、トイレについての記載が少ない印象があるので、県全体の動き、サポー

トの仕方について、状況がわかれば補足説明をお願いしたい。

<事務局>

- ・各施設のトイレについては、特に整備基準が決まっているものではないので、各市町での判断となる。県としても一般観客も含めて多くの方にご参加いただきたいと考えているので、トイレのバリアフリー化を図る場合は、施設整備補助金にメニューを設けて補助金を支出している。補助率 1/2 で補助額上限 1,500 万円まで県で支援している。

<委員>

- ・実際、その補助金の効果もあるが、国スポのチャンスを逃すと洋式化は難しくなるという印象があるので、1/2 補助で推進していただいている点についてはありがたいと思うが、この機会に、どれくらい和式から洋式に変わったというようなことも確認、検証しながら進めていただけたらと思う。

<事務局>

- ・先ほど申し上げた補助金というのは、もともと補助メニューになかったものであり、バリアフリー化を進めるにあたり、市町からの要望も踏まえて追加したものである。これにより一定の効果は出ていると思っているが、現実問題としてどれくらい効果があったのか数字で把握している状況ではないことから、ご指摘を踏まえ、効果なども把握しながら進めてまいりたい。